

## インターバンクの声（2017年8月30日）

夜中、日本時間午前2時位まで起きていた方なら多少想像出来たかも知れないが、午後11時頃までに就寝した人の多くは、今朝の円相場の水準には驚かされたことだろう。

ロンドン市場、早朝には108円60銭水準のドル売りポジションだったが、109円20銭で置いておいたストップ・オーダーが午前1時過ぎにしっかりと付いていた。

一旦108円27銭までドル売りが進んだことで、あとは4月中旬の今年のドル安値108円14銭を抜けて行くのも時間の問題かと思われたが、ここまで戻すのは全くの想定外だった。

決して欲張ったつもりはなく108円00銭で60銭程利食うつもりだったが、逆に60銭の損失となってしまった。

ロンドン・ニューヨーク時間担当の同僚にドル反発の背景を確認するが、米国防省が北朝鮮のミサイルが米本土やグアム島の安全を脅かすレベルにないとの見解を示したことで、北朝鮮情勢をめぐる懸念が後退したことが主因だったらしい。

110円台を回復すれば別だが、まだドルを買う気になれない。

---

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。